

平成23年6月10日

各 位



代表取締役社長：廣谷 彰彦
(JASDAQ・コード番号2498)

News Release

－国際開発ジャーナル「私の現場主義」記事掲載－
～GC事業本部 軌道開発部 阿部玲子氏～

(株)国際開発ジャーナル社の発行する月刊誌「国際開発ジャーナル(2011年6月号)」のコラム“私の現場主義”に、弊社GC事業本部 軌道開発部 阿部玲子の記事が掲載されました。

女性初の現場監督を経験した土木技師として、「日本のマネジメント力を現場に伝え、残したい」と言う阿部は現在、バンガロール市の地下鉄工事の品質管理を担当。「技術力だけでなく、行程や品質、安全管理等含めた日本のしぐみを伝えたい」と述べています。

詳細については次ページをご覧ください。

なお、記事掲載につきましては(株)国際開発ジャーナル社の承諾を受けており、無断で転載・複写することをご容赦願います。

お問い合わせ先

株式会社ACKグループ

TEL: 03-6311-6641 FAX: 03-6311-6642

E-mail: ir-ackg@ack-g.com URL: <http://www.ack-g.com>

統括管理本部 担当 本田

私の現場主義

cover column



インドの地下鉄建設現場

(株)オリエンタルコンサルタンツ
軌道開発部次長 阿部 玲子さん
ABE Reiko

1963年生まれ。神戸大学大学院トンネル工学部卒業後、鴻池組へ入社。社内留学制度を利用してノルウェー工科大学で学んだ後、台湾新幹線の品質管理担当者となる。04年にパシフィックコンサルタンツインターナショナルへ籍を移し、08年にオリエンタルコンサルタンツに移籍。山口大学、神戸大学、インド科学大学の教壇にも立つ



日本のマネジメント力を現場に伝え、残したい 女性初の現場監督を経験した土木技師として

大きな建造物をつくることに憧れ、山口大学工学部に入学後は、大手ゼネコンで働くことを夢見ていました。ところが、4年生のある日、ゼミの指導教官に宣告されたのです。「残念ながら、女性である君がこの分野で就職できる可能性は非常に低い。覚悟しておきなさい」。初めて現実を知った瞬間でした。「都会の大学院へ進学してからなら可能性があるかもしれない」という助言を受け、神戸大学大学院へ進学。しかし、バブルで景気が上向き始めても、女性の総合職は皆無に等しい状況。指導教官が大手20社に直接電話で頼んでくれましたが、やはり「女性」だという一言で全滅。最終的には教授や研究室OBの方々の尽力で鴻池組に運良く入社できて幸いでした。周囲の支えがなければ叶わなかったと思います。さらに幸運なことに、配属部署には多くの研究室OBがおり、親身に育ててもらいました。

ところが、入社7年目でバブルが崩壊し、事業規模は縮小の一途をたどり

ます。上司から「女性である君が生き残るには、他人と違う強みを身に付けた方がいい」と言われ、社内の留学制度を使って地下掘削技術でトップクラスを誇るノルウェーの工科大学へ。TOEFLの勉強は必死でやったけれど、会話力はゼロ。それなのに、なぜか同級生が私を馬鹿にする言葉は聞き取れる。悔しかったですね。

半年が過ぎた頃に突然、相手の言葉が理解できるようになってからは世界が一変したけれど、誰とも話せず自宅でぬいぐるみを話相手に、相撲中継の日本語に涙していたあの半年間を思えば、どんな苦勞も乗り越えられる気がします。

卒業後は、半年間、ノルウェーのゼネコンで研修し、海底トンネルや地下発電所などの現場経験を積みました。帰国後、鴻池組に復職してすぐに、トンネル知識と英語力が求められる台湾新幹線の施工案件に品質管理担当として参加し、5年間台湾に駐在。しかし、社内の海外事業が縮小傾向にあり、将

来を考えていた時に知人から声をかけられパシフィックコンサルタンツインターナショナル（PCI：当時）へ。08年からインドのデリー市における地下鉄建設にトンネル専門家として参加しました。インドでは、男性が女性に注意されたり叱られることは、プライドをひどく傷つけます。そのため、同僚の男性に指示を依頼したり、叱る時には個室に呼んで理由を説明するなど気を配りました。ただ、命に関わる場合に限っては、その場で怒鳴ります。プライドより人命が大事ですから。

現在は、バンガロール市の地下鉄工事の品質管理を担当しています。私は、技術力だけでなく、工程や品質、安全などの管理を含めた日本のやり方を伝えたい。昨年からは山口大学の博士課程に入学し、そうしたソフトコンポーネントの効果的な指導方法を学んでいます。技術と違って、ソフトは目に見えない分、受け入れる側も躊躇してしまう。その壁を少しずつでも解消できたらと考えています。